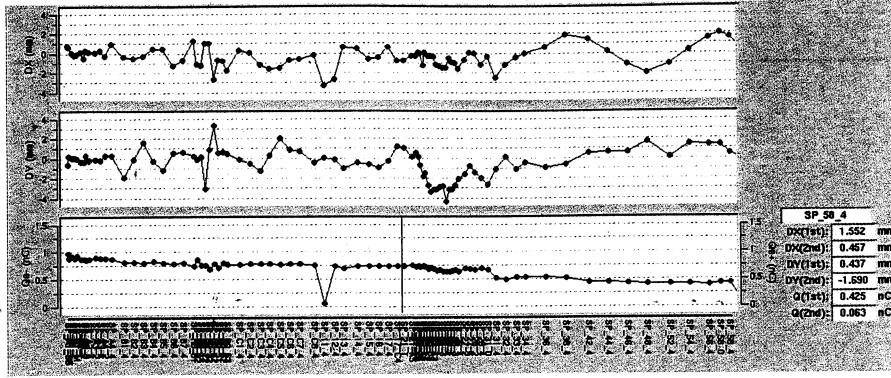
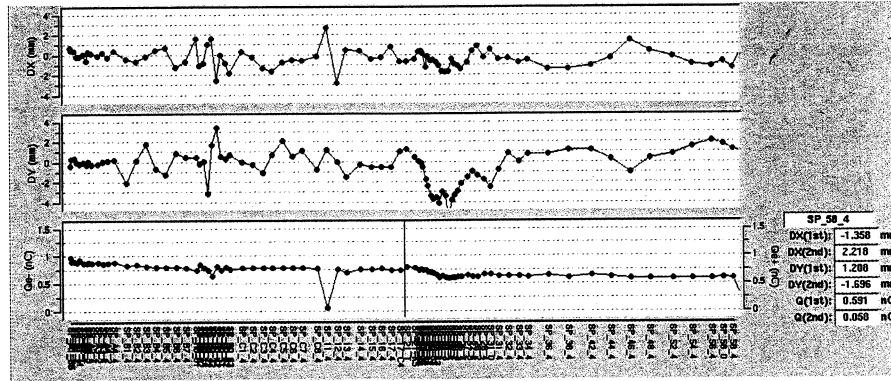


KL 22,23 STB → ACC



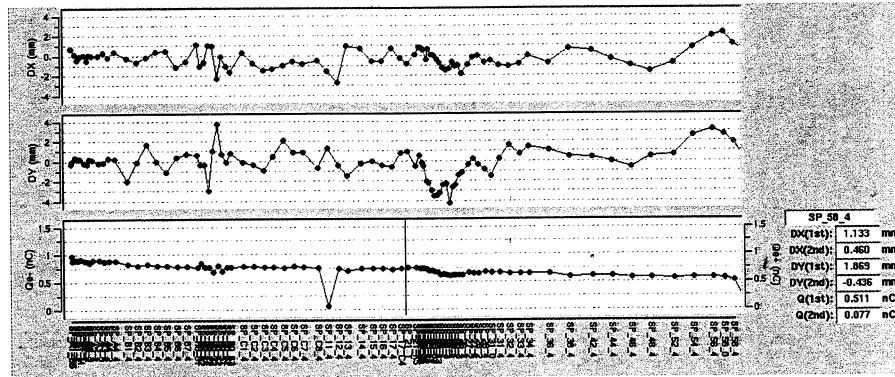
調整前



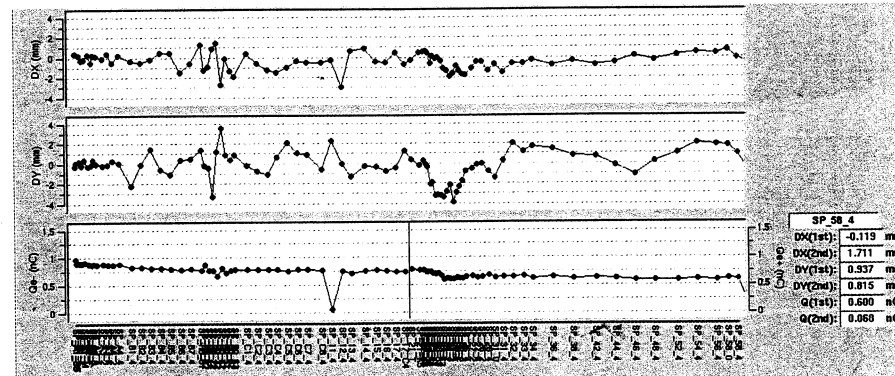
調整後

KL\_22 φ 308.5° → 217.5° (-91°)  
 KL\_23 φ 371.5° → 462.5° (+91°)

KL 32,33 STB → ACC



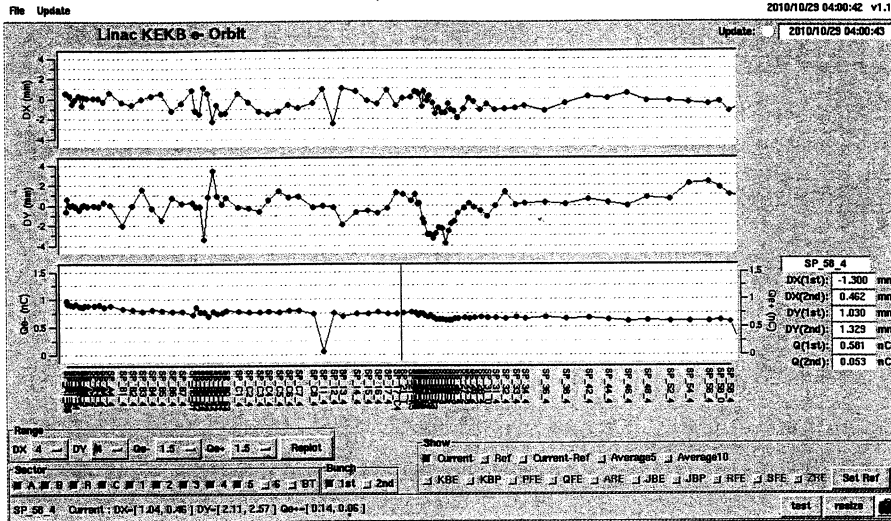
調整前



調整後

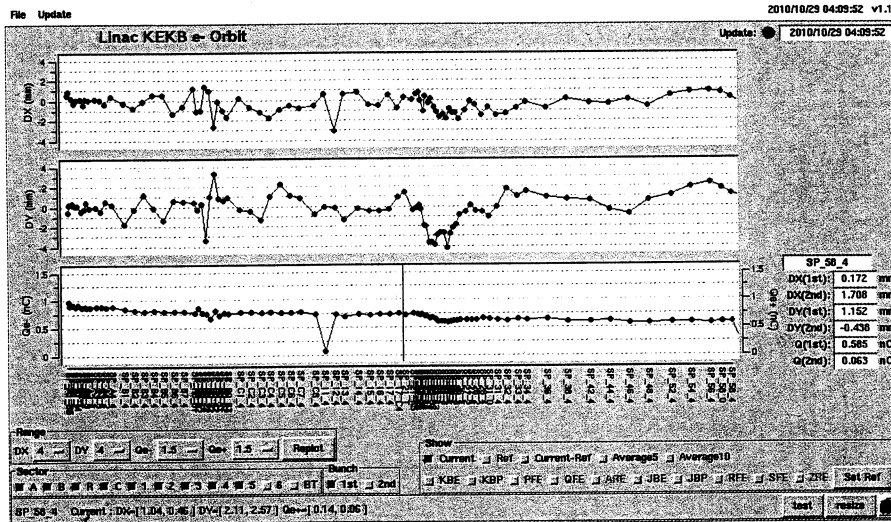
KL\_32 φ 337.5° → 427.5° (+90°)  
 KL\_33 φ 244.0° → 154.0° (-90°)

KL 41,42 STB → ACC



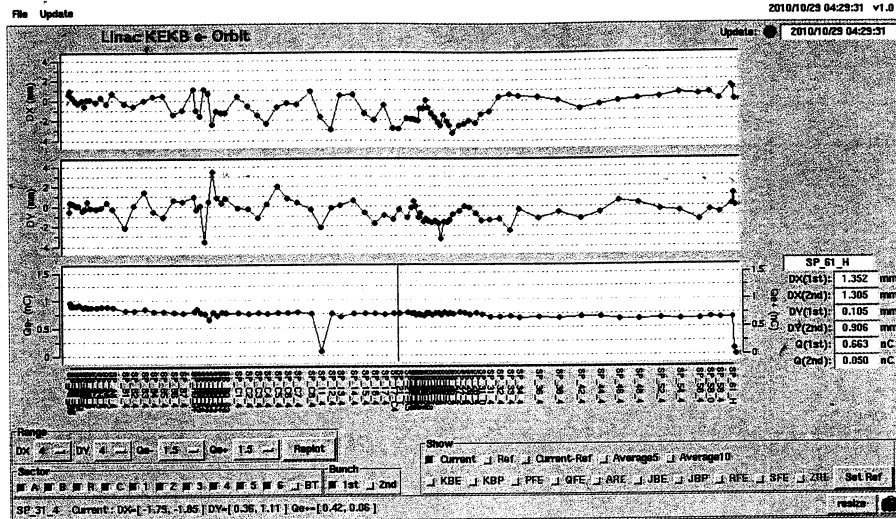
KL\_41,42 φを動かすが、特に状態変わらず。

KL 51,52 STB → ACC

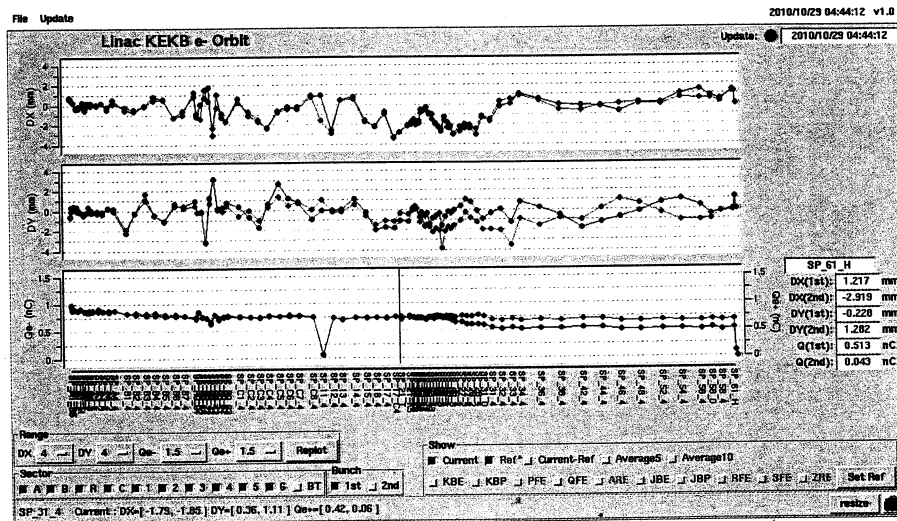


KL\_51,52 φを動かすが、特に状態変わらず。

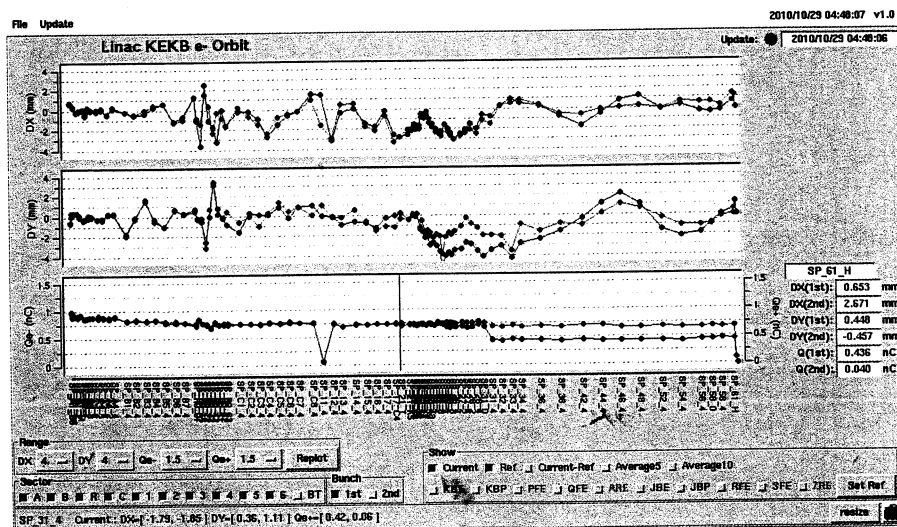
04:16 8GeV (BT: data4993.all)  
 Dipersion 測定 (Energy Knob r0\_kbe を調整し、2セクター以降のロスを調べる)



Energy Knob(r0\_kbe) = 1.6000 (元)

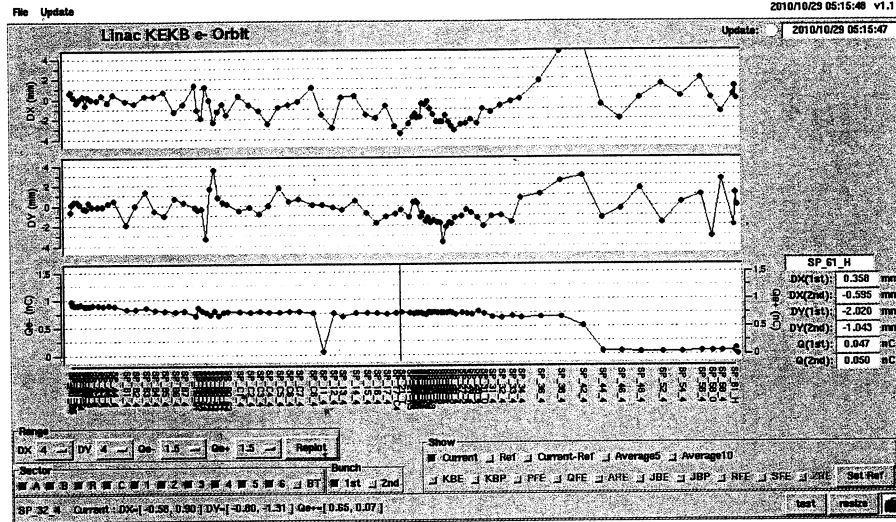


Energy Knob(r0\_kbe) = 1.6050

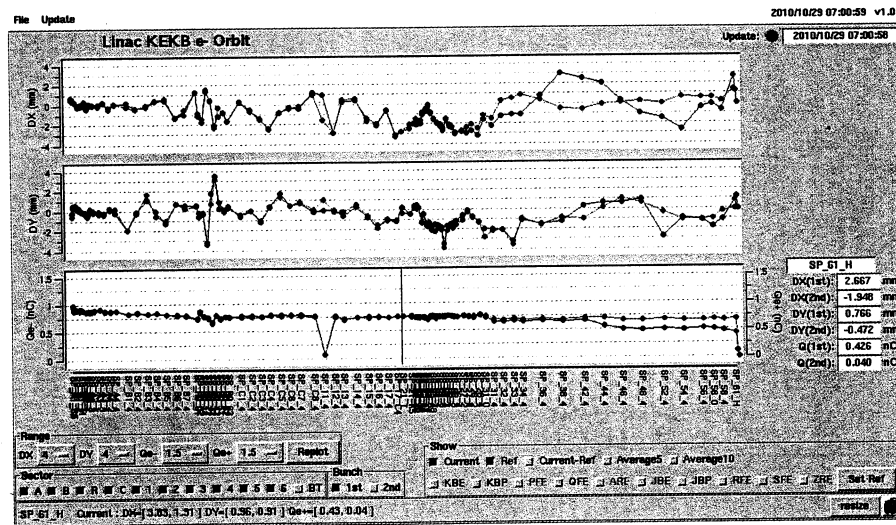


Energy Knob(r0\_kbe) = 1.5960

05:14 A-2 セクター 8GeV\_Optics(BT: data4993.all),  
 3-5 セクター PF 入射パラメータ(lastOpfe.main)に設定し、軌道調整



調整前



調整後

調整パラメータ

- SX\_26\_1 1.000A → 0.001A
- SX\_27\_1 1.603A → -1.398A
- SX\_28\_1 -3.198A → -0.597A
- SY\_28\_1 0.099A → -1.300A
- PX\_28\_4 0.00A → 0.51A
- PX\_38\_4 0.00A → 1.70A
- PY\_38\_4 0.00A → -0.50A
- PX\_48\_4 0.00A → -0.29A
- PY\_48\_4 0.00A → 3.10A

パラメータセーブ

BT : data4996.all  
 Event : 20101029-070500.dat

2010.11.4(木) B8 ダウンライン E-4 調整

16:20

- ① 10/29 吉田氏のステータス用のパイプ-タ. 3TからE-4を出した AI からもE-4を出したときのもの.
- ② 11/4 最新のPF入射用パイプ-タ.

パイプ-タ ② を ベースに ① の A ~ 2セクタまでのパイプ-タ を上書きした.

16:23

まず J-arc BM を ON のまま E-4 を確認する

AI から A, Bセクタ E-4 が徐々に口に入っている.  
→ event 関係のパイプ-タをセットする

E-4  
<116>  
は ΔHz

16:54

古川氏 event 関係の問題を解決してくれた.

J-arc SC-RO-31 の J/E の調整 1nc E-4

17:00

3T 上の PF 用 E-4 を ON した.

さらに AI からの E-4 を ON しようとしたができない.

→ AI から HV OCP がダウンしている。 → 電子銃室の Firing (電子銃電源)

→ reset ON した.

BPM が KEKB の PF 位置から見えない @ Sect 1 ~ 5

→ Sync パネルに切り替える.

17:30

現在 PF ring は蓄積入射中.

AI からの 1nc E-4 も ON して SC-RO-31 を確認

同時に E-4 を出すことは成功

17:31

AI から 10nc E-4 を出すように電子銃のパイプ-タを変更する.  
Gun Parameter Panel の変更

17:36

SC-RO-31 の J/E 大きい  
BPM A, B-sector 見えない.

Position 用 Orbit Panel の beam charge 表示が壊れている.  
position 用 BPM の タイミング合わせができていない.

Electron 用 Orbit Panel の beam を見る. Q=5nC @ AI

17:46

さらに電荷量を上げる (電子銃に仮電圧を変更)

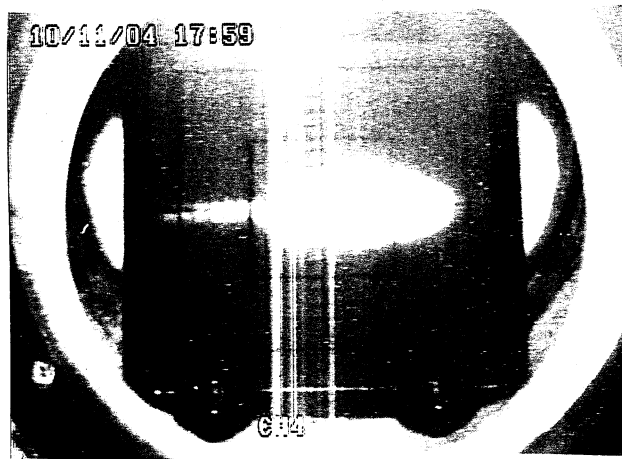
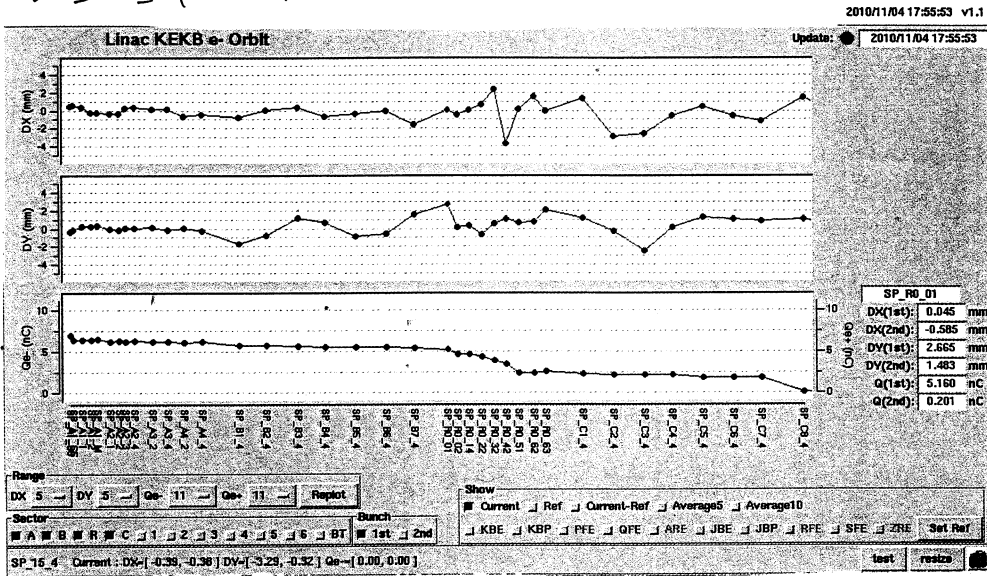
AI は 8.6nC B8 は 6.5nC

17:52

大電流ビームを束中の収束もかなり難しい。全体的に5nC  
 くらいになると3本はF1代。

SC\_R0\_31 の Q/E 確認終了

Q = 5nC

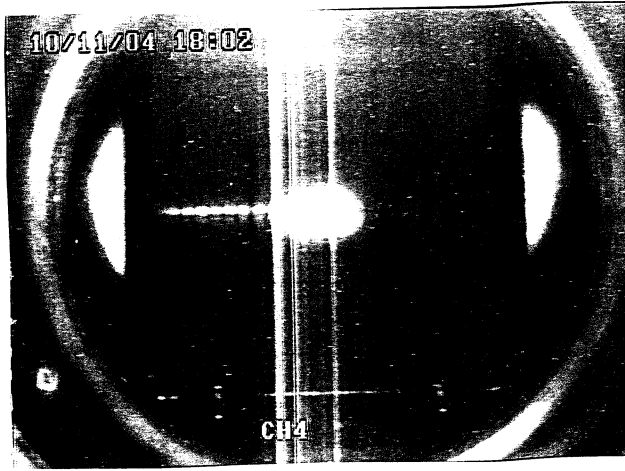
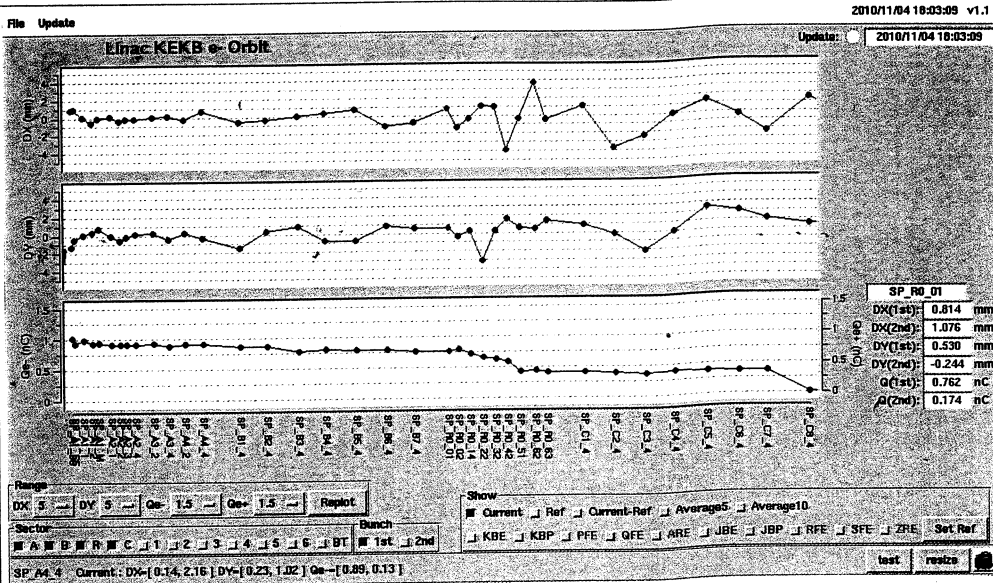


18:01

今度は Inca 19x-ta に切り替えて確認終了。

次回 - 3 ^ - 4

$Q = 1 \text{ nC}$



18: <sup>6</sup>~~00~~

J-arc の BM を OFF する。  $I_{BM-R0-16} = 325.043 \text{ (A)}$   
 かつ電流値 zero を出す。電流値がほぼ zero になるまで確認した。

SC-R0-D1     $\theta = 7^\circ$  上のスリット  
 SC-R0-D2    直線上のスリット → 蛍光板の向きがわかる

スリットが  $\theta = 4^\circ$  位置調整 @ SC-R0-D2  
 $BX_{R0-01} = -2.353 \text{ A}$  (初期値)  
 $BY_{R0-01} = -0.263 \text{ A}$  ( " )

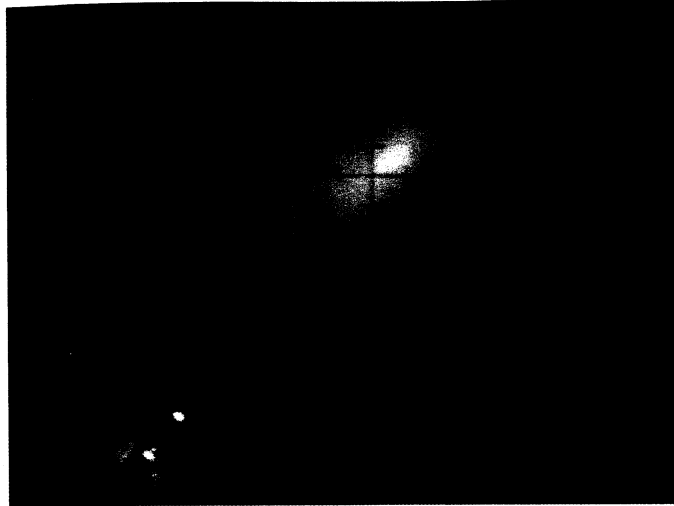
$BY_{max} = +1.208 \text{ A}$  (平均値)  
 $BY_{min} = -1.862 \text{ A}$      $\rightarrow -0.32 \text{ A}$

$BX_{min} = -5.000 \text{ A}$  まで調整可能。

SC\_RO\_D1 (X-Y) のスポット図を撮す。  
 (BX, BY)  
 BY = -1.027A  
 BX = -5.000A にて。スクリーン上之広く光っているように見える。

18:35

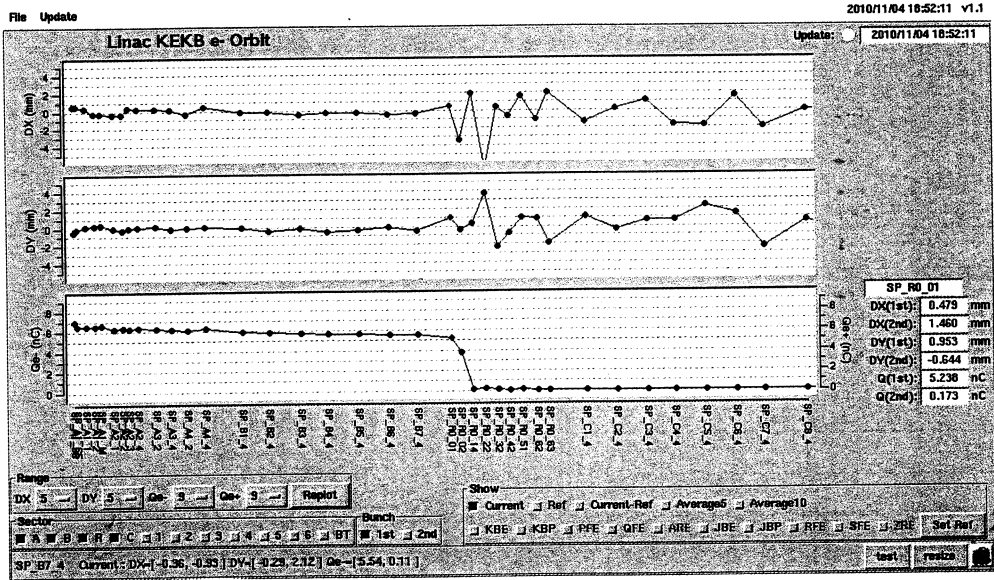
1Hz



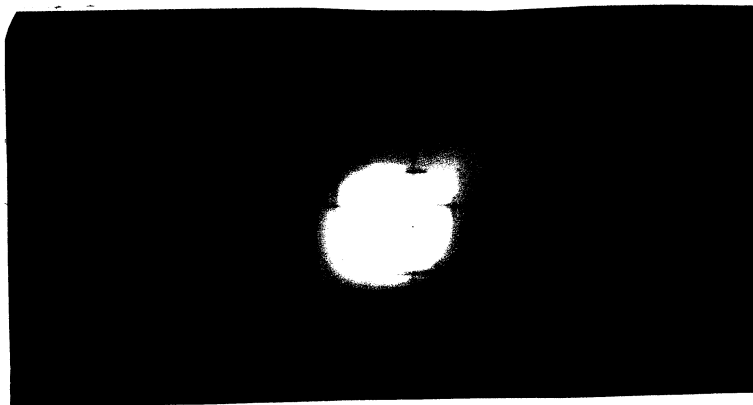
この向きでは左右は正しく  
上下逆に  
見えている。

中央が見て  
 ← やや右上にある濃いスポット  
 は LEDライトによる光点。  
 より広く、全幅 10mm くらい  
 (上下、左右ともに)  
 の光っているのがビームによる  
 もの。

軌道で  
おぼろげ  
に存した。



50Hz



5nC用 ビームロスモニター  
4997.all

GUAI K9X  
101104\_190220.dat  
Event K9X-9  
20101104\_190315.dat

19:07

J-one BM を初期化して、各種パラメータを再度設定する。



I 24 722. Z 727 續上

Dispersion の測定

o C-1, C-2 等 1732 -  $\frac{+890}{-890}$  112. 測定

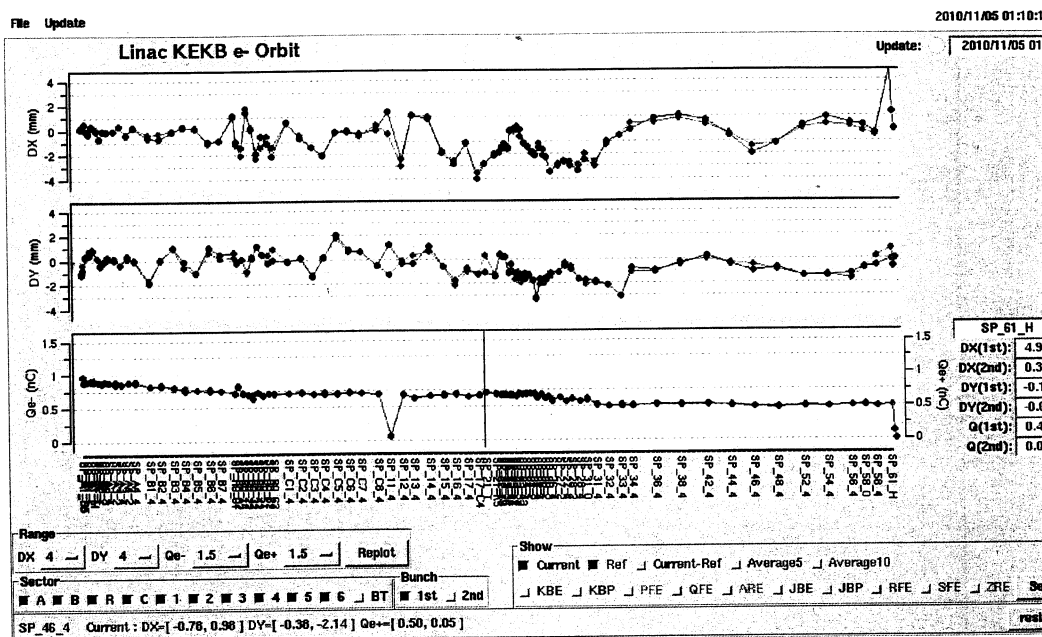
↑  
9

2010/11/5 深夜シフト

01:08:03

吉田氏 Study 用 (8GeV) パラメーターを設定。

BT : data4999.all を Quickload. 01:11:20KL\_C1,C2 の位相を変更し、ビームの変化を確認  
変更前の基準状態を確認。



01:21:54

KL\_C1, C2 φ を変更して、ビームが通ることを確認

KL\_C1 φ 266.5° → 355.5° (+ 89.0°)

KL\_C2 φ 339.5° → 250.5° (- 89.0°)

